

# 江北の四季

令和2年  
4月14日  
第2号

○何と何と早速、笹原先生より原稿をいただきました。速くも第2号、嬉し嬉しです。

○松村先生に通信を発行していただき、近江湖陽会の皆さんと情報交換をする機会が増えることを楽しみに出来るようになりましたね。ありがとうございます。

さて、令和二年新年会では、まさかこのようなコロナ感染が広がるなどは想像すらしなかったです。皆さんと楽しくお花を生け、一緒に食事をし、楽しい時間を共有しました。それがあれよあれよと言ううちにコロナ感染は急拡大です。湖陽会の花展も残念ながら延期にしなければなりませんでした。皆さんにはいろいろと準備していただいたこと申し訳ないですが、また秋に延期した花展に生かしていただけたらと思います。また、中央研修も延期で寂しいです。五月が七月になるのですが、本当に開催されるのかも疑問です。開催されても、感染大丈夫なのかと考えると今

年は止めて来年に延期をしようかななども考えています。自分のことも心配ですが、それ以上に子供たちのことも心配です。東京と名古屋に居ます。感染数がとても多いのでコロナ疎開なども考えますが、仕事の関係でそういった不安です。どうなるのでしょうかね。



思いました。湖北の良さを感じました。

でも、コロナ感

染のおかげ？でさ  
さやかな楽しみも  
ありました。高時  
川沿いの桜満開を  
独り占めできまし  
た。大勢の人で賑  
わうはずが、人が  
いませんでした。  
ひと時、コロナを  
忘れほっとし、自  
然の中で癒される

昨年五月一日に令和がスタートすると同時に近江湖陽会も支所としての活動が始まりました。一年前のあのころは明るい未来を誰もが予感し意気揚々としていたと思います。ふと思い出したのですが、平成最後の日に生け

たお花と令和の初めに生けたお花です。お花を生ける時いろいろな思いを込めて生けますが、平成最後の日に生けたお花は次のような自由花でした。平成万歳ありがとうございます



ちで生けたと思いま  
す。ガーデニングと  
はいきませんが、家  
の周りにある独り生  
えの花などを使って  
生けました。私にと  
って平成は人生の充  
実期であったと思え  
ます。お花人生にと  
ってもです。

次に令和初め五月二  
日に生けたお花です。令和感と言うか自分の  
令和をイメージして生けました。粋でスマー  
トにと。どうも、そんな感じになってない今  
日この頃ですが。令和の時代が私にとって円  
熟期となることを願っています。皆さんにと  
もに穏やかな時代にな  
ることを願  
いたいで  
す。



